

【2019年4月20日～2019年5月3日までの推移】

【1】4月20日～5月3日までの回顧

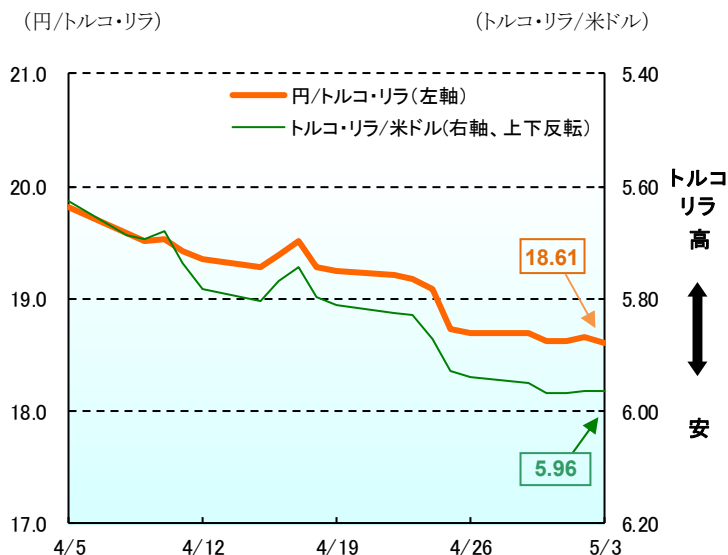
先週、先々週のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともに小幅に下落しました。トルコの2年国債金利は上昇しました。

先々週は、25日（現地、以下同様）にトルコ中央銀行の金融政策理事会で大方の事前予想通り、政策金利は据え置かれました。一方、声明文では「必要に応じてさらなる金融引き締めを実施する」との文言が削除されたため、インフレ率が高止まる中での金融引き締め姿勢の後退は中央銀行の独立性への懸念を再燃させ、トルコ・リラは対米ドル・対円ともに下落し、国債は売られ、金利は上昇しました。先週は、日本が大型連休を迎えて流動性が乏しい中、積極的に売買する動きも乏しく、トルコ・リラも国債も小動きに終始しました。

【2】今週の見通し

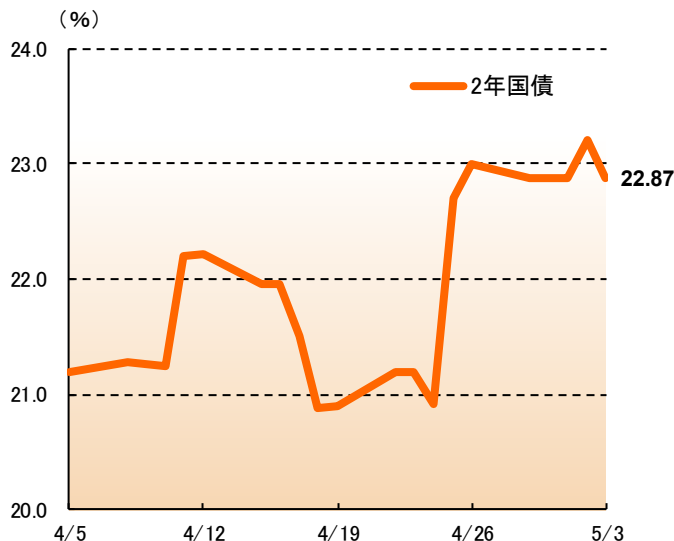
5月6日、トルコの最高選挙管理委員会が3月末に実施されたイスタンブールの市長選結果を無効とし、6月23日にやり直し選挙を実施すると発表しました。これを受けて今週のトルコ市場は、為替、債券、株式のトリプル安で始まりました。いったん決着したと思われた選挙が蒸し返されたことにより、トルコの民主主義に対する懸念が台頭し、中長期的なトルコからの資金逃避の動きへの警戒が強まっています。国外では、トランプ米大統領が対中関税の引き上げを表明したことをきっかけにリスク回避的な動きとなる中、今週のトルコ・リラは、引き続き下落方向に警戒する必要があります。

【トルコ・リラ 為替推移】(2019年4月5日～2019年5月3日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【トルコ 金利推移】 (2019年4月5日～2019年5月3日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>